

# 高等学校における 知的財産権侵害防止教育 学習指導案

令和2年11月30日作成

## 調査＋ディスカッション重視型

若者がコピー商品(注)を買わないよう啓発するため、「買わない 売らない 買わせない！」をキャッチコピーに実施している「令和2年度コピー商品撲滅キャンペーン」の一環として、全国公民科・社会科教育研究会のご協力を得て、コピー商品に関する正しい知識を生徒に教える、知的財産権侵害防止教育の授業を実践するための学習指導案を作成しました。

高等学校の学習指導要領に準拠し、「現代社会」と「政治・経済」における消費者教育と知的財産権教育に対応し、「標準型」、「ディスカッション重視型」及び「調査＋ディスカッション重視型」の3種類の学習指導案をご用意しました。

各学習指導案に合わせて、生徒に配布する資料やハンドアウト等のPDFをプリントアウトできるようになっておりますので、是非、ご活用ください。

(注)この学習指導案では、「知的財産権」を侵害している商品等を「コピー商品」と総称します。

## 1 主題

どうしたらコピー商品を撲滅することができるのか。

## 2 単元

消費者教育にかかる授業を想定すると現行の学習指導要領に準拠すれば次の①と②が考えられる。

- ①「現代社会」の「2 内容」の「(2)現代社会と人間としての生き方あり方」の「エ 現代の経済社会と経済活動のあり方」の「個人や企業の経済活動における役割と責任」において「3 内容の取扱い」(2)イ(オ)の指示に従って消費者教育の中で扱うこととなる。
- ②「政治・経済」の「2 内容」の「(2)現代の経済」の「ア 現代経済の仕組みと特質」の「市場経済の機能と限界」において「3 内容の取扱い」(2)イの指示に従って消費者教育の中で扱うこととなる。

なお、知的財産権にかかる授業となれば、

- ③「現代社会」の「2 内容」の「(2)現代社会と人間としての生き方あり方」の「ウ 個人の尊厳と法の支配」の「国民の権利の保障」において日本国憲法の基本的人権の学習における自由権的基本権の経済活動の自由に関して、知的財産権の学習において扱うことができる。
- ④「政治・経済」の「2 内容」の「(1)現代の経済」の「ア 民主政治の基本原則と日本国憲法」の「基本的人権の保障と法の支配」において日本国憲法の基本的人権の学習における自由権的基本権の経済活動の自由に関して、知的財産権の学習において扱うことができる。

### 3 目標

上述「2 単元」にそくして次の目標が考えられる。

- ①であれば、消費者に関する問題の一例としてコピー商品の撲滅を主体的に考察し、公正に判断し、良識ある公民としての基礎を養うことが目標となる。
- ②であれば、消費者に関する問題の一例としてコピー商品の撲滅をとおして消費者問題解決という課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民としての能力と態度を育てることが目標となる。

ちなみに、

- ③であれば、知的財産権を例に、幸福、正義、公正等を用いて「どうしたらコピー商品を撲滅することができるのか」を具体的に考察させることが目標となる。
- ④であれば、知的財産権を例に、基本的人権を尊重し擁護することの意義を理解させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てることが目標となる。

### 4 学習指導案

#### Ⅰ (1) 評価規準

ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断・表現	ウ 技能	エ 知識・理解
①コピー商品が横行している事実を知ろうとしたか。	①なぜコピー商品を買ってはいけないのかを考 えることができたか。	①資料を正確に読み取る ことができたか。	①ブランドについて知ること ができたか。
②資料を積極的に見ようと し、内容をまとめ、ディス カッションに積極的 にかかわろうとしたか。	②資料の内容をまとめ、主 張を読み取り、他者と共 有しつつディスカッ ションにおいて自らの 主張を正確に述べるこ とができたか。	②読み取った内容を適切 に共有できたか。	②ブランド品の中にはコ ピー商品が存在するこ とを認識できたか。
③コピー商品を買わないよ うに、売らないように、買 わせないようにできるか 考えようとしたか。	③どうしたらコピー商品 を撲滅することができる のか考えることができたか。	③ディスカッションをと おしていっそう望まし い合意形成ができたか。	③なぜコピー商品を買っ てはいけないのかを理 解することができたか。
			④コピー商品を買わないた めのチェックポイントを知 ることができたか。

## Ⅰ (2)本時の展開

### 【第1時の展開】

時間	○学習内容 ・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準(評価方法)
導入 10分 ↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ブランドについて知る。</li> <li>・身の回りの文具や服などの口ゴなどを確認する。</li> <li>○ブランド品の中にはコピー商品が存在することを認識する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な例からブランドの意味を知る。</li> <li>・ブランドについて深入りはしない。</li> <li>・税関で差し止められた有名ブランド品のコピー商品を画像で示す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エー①, ②</li> <li>・積極的に調べようとしたか。</li> <li>・発問への回答</li> <li>・提示した画像を見てブランド品との違いを確かめようとしたか。</li> </ul>
展開 35分 ↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループごとにどのようなコピー商品が社会にあるかを調べる。</li> <li>○グループ内で詰められるだけの実例を収集する。</li> <li>○収集したコピー商品を分類して整理して特徴や傾向を把握する。</li> <li>○グループ内での分析がひととおりできたところでプレゼンをする。</li> <li>○他のグループの発表を聞いて自分のグループの分析や発表を改善する。</li> <li>○2回目のプレゼンを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループに分ける。</li> <li>・グループ内で分担して、メーカー、小売りあるいは官公庁などのサイトから具体的なコピー商品を探し出せるだけ探させる。</li> <li>・探しあぐねているグループには、手がかりとして以下の検索方法を提示し調べが進むよう促す。(検索方法の例:「模倣品+具体的な商品名(カメラ、シューズ、ラケット)」、「模倣品+企業+取り組み」など)</li> <li>・ネット環境がない教室の場合は具体例の収集は事前学習としてもよい。</li> <li>・プレゼンは順番に発表させても良いしワールド・カフェ形式で一気に発表させてもよい。</li> <li>・自分のグループのまとめ方の改善にグループ内のメンバーが力を合わせて積極的に参加できるように促す。</li> <li>・クラス内で情報共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウー①, ②</li> <li>・積極的に情報を収集しようとしたか。</li> <li>・より正確な情報を得ようとしたか。</li> <li>・アー②</li> <li>・イー②, ③</li> <li>・ウー②, ③</li> <li>・ディスカッションへ積極的な参加, 提言の鋭さを確認する。</li> </ul>
まとめ 5分 ↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各グループから指摘されたことを整理する。</li> <li>○授業者からの指導講評を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートにコピー商品の特徴や傾向をまとめておくように指示する。</li> <li>・次時へ継続する視点・論点を明らかにしておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウー①, ②</li> <li>・エー①, ②</li> <li>・コピー商品の横行という事実を重大に受け止められたかを確認する。</li> </ul>

## 【第2時の展開】

時間	○学習内容・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準(評価方法)
導入 5分	○前時の学習内容を確認する。	・社会にどれほど多くのコピー商品が出回っているかを確認させる。	・エー①, ② ・前時の学習を確認しようとしたか。
展開 35分	○なぜコピー商品を買ってはいけないのかを考え理解する。 ○コピー商品を買わないためのチェックポイントを知る。  ○どうしたらコピー商品を撲滅することができるかディスカッションする。	・ <a href="#">特許庁令和2年度スペシャルムービー『買わない 売らない 買わせない!』(YouTubeが開きます。外部サイトへリンク)</a> を見ながら、なぜコピー商品を買ってはいけないのか、コピー商品を買わないためのチェックポイントを読み取らせる。YouTubeの視聴が難しい場合は、本ウェブサイトや「先生・生徒用コンテンツ」の「コピー商品撲滅キャンペーン スペシャルマンガ」及び「コピー商品の見分け方・危険性」PDFを活用する。 ・グループに分ける。 ・グループディスカッションにより理解を深めつつ、具体的な政策提言を考えることで、個人と社会との関係を意識させる。	・アー②, ③ ・イー① ・ウー① ・エー③, ④ ・読み取った内容をメモに取らせ理解度を確認する。  ・アー② ・イー②, ③ ・ウー②, ③ ・ディスカッションへ積極的な参加、提言の鋭さを確認する。
まとめ 10分	○グループでのディスカッションで出た意見等をクラスで共有し、どうしたらコピー商品を撲滅できるのか、具体的な政策提言を試みる。	・まとめにかけられる時間に応じて共有する意見の数を調整する。 ・すべてのグループに発言を求め、主なグループを授業者が指示してもよい。	・イー③ ・ウー③ ・発言内容の確かさ、聞いてもらおうという意欲の強さ、論理の明晰さで確認する。

# Ⅰ (3)本時のハンドアウト

## 【第1時のハンドアウト】

### どうしたらコピー商品を撲滅することができるのか

////////////////////////////////////

**1** 自分の身の回りでみるブランド品を書き出してみましょう。

回答:

**2** メーカーや小売りなどの企業のサイトや官公庁のサイトから調べましょう。

2-1 メーカーや小売りなど企業や官公庁のサイトからどのようなコピー商品があるか調べましょう。

企業名・官公庁名: [ ]

どのようなコピー商品がありましたか:

企業名・官公庁名: [ ]

どのようなコピー商品がありましたか:

企業名・官公庁名: [ ]

どのようなコピー商品がありましたか:

2-2 企業や官公庁が、コピー商品に対してどのような注意喚起を行っているか調べましょう。

企業名・官公庁名: [ ]

注意喚起や取り組み:

企業名・官公庁名: [ ]

注意喚起や取り組み:

企業名・官公庁名: [ ]

注意喚起や取り組み:

**3** コピー商品とされる品物に特徴や傾向はありますか。気づいた点を書き出せるだけ書き出しましょう。

回答:

**4** コピー商品とされる品物の特徴や傾向についてグループ内のあなた以外の人の意見を聞いて、新たな特徴や傾向があれば書き加えましょう。

回答:

**5** 他のグループのプレゼンを聞いてコピー商品とされる品物の新たな特徴や傾向があれば書き加えましょう。

回答:

**6** コピー商品を調べてみてどのような感想をもちましたか。

回答:

氏名:

所属:

年

組

番

日付:

年

月

日

【第2時のハンドアウト】

どうしたらコピー商品を撲滅することができるのか



**1** 後輩が購入したバッグを先輩デザイナーがコピー商品と指摘しています。  
先輩デザイナーは後輩が購入したバッグのどこが本物と違うと具体的に指摘していますか。

回答： \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_ の二か所を指摘しています。

**2** コピー商品を見抜く10の視点が示されています。確認して大切な点をメモしましょう。

回答：① \_\_\_\_\_ ② \_\_\_\_\_  
③ \_\_\_\_\_ ④ \_\_\_\_\_  
⑤ \_\_\_\_\_ ⑥ \_\_\_\_\_  
⑦ \_\_\_\_\_ ⑧ \_\_\_\_\_  
⑨ \_\_\_\_\_ ⑩ \_\_\_\_\_

**3** コピー商品を購入することについて、先輩デザイナーは「作り手の思いを踏みにじること」といって後輩を諭しています。コピー商品が出回るとは、企業や作り手(クリエイター)にどのような影響を与えるか、考えてみましょう。

回答： \_\_\_\_\_

**4** そもそもなぜコピー商品を買ってはいけないのか、指摘されている8つを書きだしましょう。

回答：① \_\_\_\_\_ ② \_\_\_\_\_  
③ \_\_\_\_\_ ④ \_\_\_\_\_  
⑤ \_\_\_\_\_ ⑥ \_\_\_\_\_  
⑦ \_\_\_\_\_ ⑧ \_\_\_\_\_

**5** 後輩は先輩から諭されてこの動画の表題を呼びます。何と言っていますか。

回答： \_\_\_\_\_

**6** ディスカッション

5-1 あなたのグループでのディスカッションで提案された「どうしたらコピー商品を撲滅することができるか」のアイデアを書き留めましょう。

[ \_\_\_\_\_ ]

5-2 他のグループのディスカッションで提案された「どうしたらコピー商品を撲滅することができるか」のアイデアを書き留めましょう。

[ \_\_\_\_\_ ]

氏名： _____	所属： _____ 年 _____ 組 _____ 番	日付： _____ 年 _____ 月 _____ 日
-----------	-----------------------------	-----------------------------

# Ⅰ (4)本時のハンドアウト回答例

## 【第1時のハンドアウト回答例】

### どうしたらコピー商品を撲滅することができるのか

**1** 自分の身の回りでみるブランド品を書き出してみましょ。

回答: **有名ブランドのスニーカー、ラケット、洋服、財布、時計、靴、靴 等**

**2** メーカーや小売りなどの企業のサイトや官公庁のサイトから調べましょ。

2-1 メーカーや小売りなど企業や官公庁のサイトからどのようなコピー商品があるか調べましょ。

企業名・官公庁名: **スポーツ用品を販売する会社**

どのようなコピー商品がありましたか: **ラケット、スポーツ用シューズのコピー商品等**

企業名・官公庁名: **カメラやカメラアクセサリを販売する会社**

どのようなコピー商品がありましたか: **フラッシュ、バッテリー、レンズのコピー商品等**

企業名・官公庁名: **税関**

どのようなコピー商品がありましたか: **Tシャツ、スマートフォンケース、靴、財布のコピー商品等**

2-2 企業や官公庁が、コピー商品に対してどのような注意喚起を行っているか調べましょ。

企業名・官公庁名: **フリマアプリ運営会社**

注意喚起や取り組み: **機械学習による不正検知。権利を侵害する商品の排除。誤って購入してしまった場合の対処法の紹介等**

企業名・官公庁名: **スポーツ用品を販売する会社、カメラやカメラアクセサリを販売する会社**

注意喚起や取り組み: **コピー商品の見分け方や、コピー商品の使用による危険性を紹介している等**

企業名・官公庁名: **靴や洋服を販売する会社**

注意喚起や取り組み: **知的財産の保護を重要視し、コピー商品を許さない企業の姿勢を示している等**

**3** コピー商品とされる品物に特徴や傾向はありますか。気づいた点を書き出せるだけ書き出ましょ。

回答: **有名ブランドや高価な商品が多い。よく見ると見た目が安っぽい。素材や性能が違う。相場に比べて安すぎる等**

**4** コピー商品とされる品物の特徴や傾向についてグループ内のあなた以外の人の意見を聞いて、新たな特徴や傾向があれば書き加えましょ。

回答: **その時流行しているデザインやジャンルのコピー商品が多い。発売が開始した新作のコピー商品が増える等**

**5** 他のグループのプレゼンを聞いてコピー商品とされる品物の新たな特徴や傾向があれば書き加えましょ。

回答: **実際には存在しない商品を「ノベルティ」と称して、オークションなどで販売している等**

**6** コピー商品を調べてみてどのような感想をもちましたか。

回答: **コピー商品は、正規品に比べて性能が劣るため消費者に被害が及ぶ可能性が高く大変危険である。本来企業が得るべき利益が損なわれている。コピー商品を購入することは、製品を作った人の思いを踏みにじることになる。コピー商品は販売も購入も決してしてはいけない等**

氏名:

所属:

年

組

番

日付:

年

月

日



## 5 授業観察の視点

- ア [特許庁令和2年度スペシャルマンガムービー『コピー商品撲滅キャンペーン 買わない 売らない 買わせない!』\(YouTubeが開きます。外部サイトへリンク\)](#)から本時において学ぶべき内容を適切に拾うことができるかに着目したい。
- イ ディスカッションにおいて積極的に発言するだけでなく、他者の意見に真摯に耳を傾け、自らのグループ意見をまとめ、更に望ましい提言へとまとめようとする努力ができるかに着目したい。